

令和5年度教職センター活動報告

講座等実施一覧表

1 教員採用試験二次試験対策講座

実施日	時間	自治体名等	参加人数
令和5年7月27日(木)	10時30分～16時30分	茨城県	2名
令和5年7月28日(金)		相模原市	0名
令和5年7月31日(月)		川崎市	2名
		横浜市	8名
令和5年8月1日(火)		埼玉県(高)	7名
		埼玉県(小・中)	16名
		さいたま市	5名
		神奈川県	12名
令和5年8月2日(水)		川崎市	2名
		横浜市	8名
		神奈川県	12名
令和5年8月3日(木)		埼玉県(高)	7名
		埼玉県(小・中)	16名
		さいたま市	5名
		神奈川県	12名
		相模原市	0名
		茨城県	2名
令和5年8月7日(月)		千葉県・千葉市	10名
令和5年8月8日(火)		千葉県・千葉市	10名
令和5年8月9日(水)		千葉県・千葉市	10名
		東京都(社会)	20名
		東京都(英語)	6名
令和5年8月10日(木)		東京都(数学)	15名
		東京都(理科)	19名
		東京都(保体)	27名
		東京都(国語)	8名
令和5年8月14日(月)	東京都(社会)	20名	
	東京都(数学)	15名	
	東京都(保体)	27名	
	埼玉県(小・中)	16名	
令和5年8月15日(火)	東京都(国語)	8名	
	東京都(英語)	6名	
	東京都(理科)	19名	
令和5年8月16日(水)	東京都(理科)	19名	
令和5年8月22日(火)	東京都(英語)	6名	

※延べ参加人数 358名

2 教員採用試験合格者から「体験談を聞く会」

実施日	時間	参加人数
令和6年1月25日(木)	18時～19時30分	37名

令和5年度「教育実践力研究会」概要

開催数	実施日	時間	参加人数
第24回	令和5年7月1日	17時00分から18時30分まで	26名
テーマ	いじめの構造から考える未然防止のための具体的方法		
概要	<p>今回は、対面とオンライン（同時双方向）の方法によって実施した。また、学校心理士による講演とグループによる討議によって進行した。最初に、学校心理士よりいじめの多様化していることが共有された後に、いじめの事例が提示され「いかにいじめを発生させないか」予防的な措置に焦点化し、グループごとに討論を実施した。各グループの意見が共有された後に、いじめの構造、いじめを「する」分類が共有された。学校心理士からは、いじめの予防対策は、いじめの構造が成立させないことが重要であることが強調された。また、教師は先入見を置いておくこと、問題がなさそうなところこそ問題があるとの態度が重要であることも強調された。講演の最後は、司会による現象学的方法の解説が付与された。</p>		
開催数	実施日	時間	参加人数
第25回	令和5年11月18日	17時00分から18時30分まで	30名
テーマ	ICT教育の現状：事例紹介と実践上の課題の検討		
概要	<p>今回は、対面とオンライン（同時双方向）の方法によって実施した。この度は、都内私立中学校・高等学校に勤務する教員より、ICT教育の現状：事例紹介と実践上の課題が報告された。会は、前半に講師の勤務校にて使用しているアプリの運用事例や業務上のルール、注意点などが共有された。ICT実践の取り組みという観点から、オンライン上の質疑応答アプリを用いて質問が回収され、随時回答していくインタラクティブなやり取りが展開された。質問には「何のためにICTを使用するのか」「ICTを使わない場面はどこか」「生成AIをどのように考えるのか」など多様な内容が投げかけられた。講演中は、グループ別に運用に関する各学校における実践が共有されるなど、現場の実態と今後の課題の共有が図られた。</p>		

令和5年度「教職カフェ」概要

開催数	実施日	時間	参加人数
第1回	令和6年2月17日	17時00分から18時30分まで	43名
テーマ	教職の現場での課題と対処法（実践の場での課題について広く扱う）		
目的	<p>現代の学校現場の現状や実際について現職教員や教職を志す学生・大学院生が、気軽に情報交換ができる場を設けることで、人的交流・情報交換・学びの機会を創出することを目的とする。</p>		
概要	<p>今年度から開催した教職カフェには、現職教員（小学校・中学校・高等学校・大学）から教職に就くことを希望する学生・大学院生が参加した。4~5名のグループに分かれてテーマに沿って意見が交わされた。また、オンライン上においてもグループに分かれて話題について意見が交わされた。また、時間が経過したのちにグループのメンバーを変更し、同じテーマで意見が交わされた。参加者からは「様々な立場の方とリラックスして話しすることができた。」「リアルな現場の事情を聞くことができ、将来の不安が減少した。」「学校現場は閉ざされた場のためオープンに会話が出来る場があると新たな見方を知ることが出来てよかった。」「学生の率直な意見や質問を受けて初心を自分も思い出すことが出来て自身の力にもなった。」等の感想が示された。</p>		

教職センター利用状況一覧表

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
進路相談	62名	158名	103名	63名	243名	226名
履修相談	4名	26名	4名	1名	5名	3名
教職全般	485名	528名	480名	134名	268名	123名
教育実習	27名	52名	24名	4名	28名	19名
採用試験	1,735名	1,469名	542名	155名	444名	297名
論文指導	2,568名	1,834名	1,014名	305名	1,770名	955名
模擬授業	69名	51名	28名	7名	46名	90名
学習指導案	12名	24名	12名	3名	12名	42名
単元指導計画	3名	45名	11名	1名	32名	38名
集団面接	84名	65名	44名	4名	40名	54名
集団討論	332名	227名	122名	8名	68名	57名
個人面接	243名	104名	105名	10名	184名	240名
願書指導	42名	56名	19名	6名	78名	214名
ボランティア	3名	5名	3名	5名	21名	38名
教職大学院	5名	6名	3名	0名	15名	30名
小学校	1名	8名	5名	7名	37名	104名
その他	28名	35名	39名	13名	78名	92名
合計	5,703名	4,693名	2,558名	726名	3,369名	2,622名